



宇宙特急便



旅の途中(創業にまつわる話あれこれ) ⑩

創業者が亡くなり経営陣が変わった。異動や転勤で周囲の仲間が目の前から少しずつ去っていく…。新経営陣にとって営業本部にいる我々スタッフはどのように映っていたのだろうか。そんな戸惑いをよそに巨大な会社の組織は刻々と変化していく…。言動を許容し、後ろ盾だった上司との会話も少なくなる。振り返ると毎日の業務に追われ自己満足な世界に浸っていたと思う。リスキング(学び直し)や自分自身にも向き合うことのない時代だ。前トップの縁戚筋で化学会社顧問をしていた方から「企業という組織とは何だと思う?」と厳しい表情で問われポカンとしたことがある。目先の事ばかりに浮かれている未熟さを指摘された気がした。この会社の有り様に疑問を持たれていたのかもしれない。そのうち自分がポツンと取り残されたような気がしてきた。昼飯にカレーを食べようとしたら喉を通らない。空腹なのに…。医者に診てもらったが原因がわからない。そんな時、海運会社グループの航空貨物会社の中途採用の話を目にした。



創業点描



1997年頃

横浜市
鶴見区で。

緊急輸出書類・小包関係の配送用



小口の輸出航空貨物専用車。
ゲート付(テーブルを手動で出し入れする)



誕生日おめでとう。

13日 H・T
21日 K・N



二十四節気

6日 立夏(りっか)
夏が始まる頃

21日 小満(しょうまん)
木々が青々として万物が成長する頃

日の出 4:33
日没 18:43

今月のひとこと

AI(人工知能)の僕(しもべ)になってはいけない。
人間の手を使わなければ新しい物は生まれないのだ。 島 正博(島精機製作所・会長)



株式会社スペースエクスプレス

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮 1-9-45
TEL: 0463-21-5522 FAX: 0463-21-5529
<http://www.spaceexpress.co.jp>



代表取締役 河面 直